

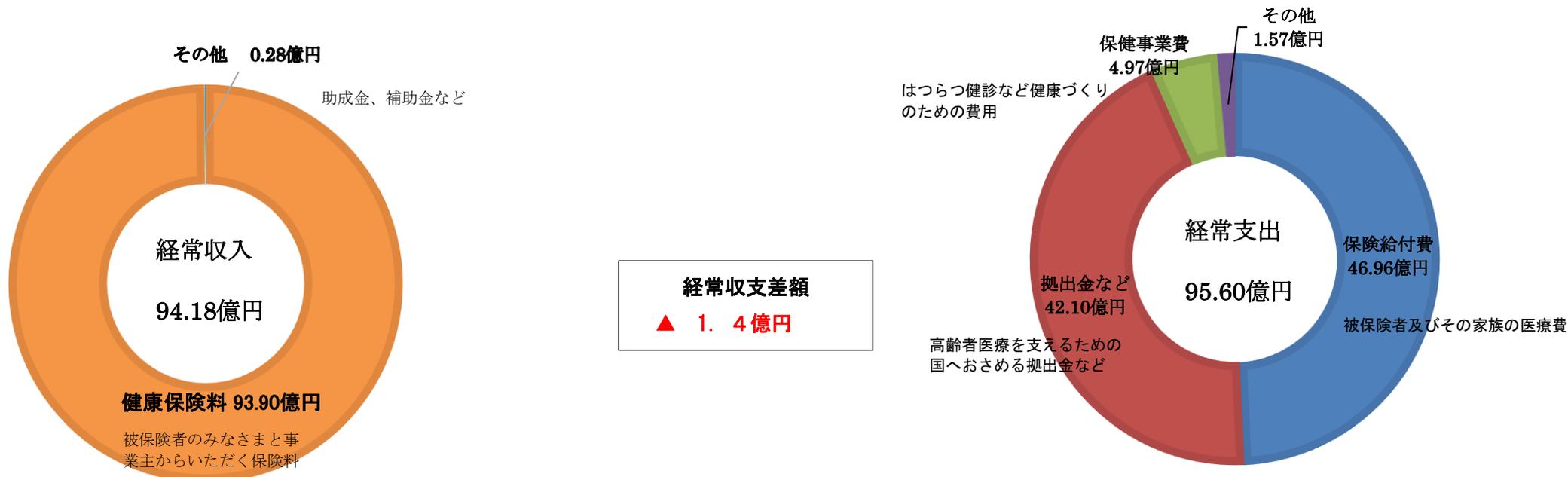
2026年度 健康保険組合予算（2月20日 健保組合会にて承認）

2026年度（2026年4月～2027年3月）の予算は、經常収入で94.18億円となります。

一方、支出は、近年の医療技術の高度化、高額薬品の増加に加え、2026年度は診療報酬の改定があり、増加傾向は継続するものと見込みました。

また、高齢者医療費の財源として国へ納付する拠出金は、団塊の世代が全て後期高齢者になるなど、総人口における高齢化率の上昇に伴い、保険給付費に迫る大きな負担となっています。

なお、保険料率は2014年度以来、13年連続で据置（96/1000）となります。



2026年度

- ・介護保険予算規模 12.76億円

前年度の繰越金を0.2億円繰入することで、現行の保険料率（19.0/1000）を維持します。

- ・子ども・子育て支援金予算規模 2.13億円

本年度より徴収を開始します。支援金の料率は2.3/1000となります。

- 主な保健事業
- ・はつらつ健診 ・ 歯科健診 ・ 女性健診 ・ 人間ドック補助
 - ・精密健診補助 ・ 健康相談 ・ 医療費通知
 - ・健康ポータルサイト(Pep Up)の周知、運用
 - ・健康経営・データヘルス計画推進関連 ・ 健康づくり講演会
 - ・禁煙キャンペーン ・ 保健体育行事（運動奨励）への補助
 - ・特定健診 ・ 特定保健指導 ・ 事業所別ランキング表
 - ・重症化防止支援事業（受診勧奨通知） ・ ポリファーマシー対策